

インターアクト年次大会参加報告

インターアクト委員会 委員長 大塩秀樹君

第2620地区インターアクト第36回年次大会に参加しましたので報告します。

- 1.日時：8月1日(土)・2日(日)
- 2.場所：清水マリナーミナル他
- 3.ホスト校：静岡県立静岡高校
- 4.スポンサーRC：静岡ロータリークラブ

8月1日は清水マリナーミナルにて14時より開会式を開催された。開会式は飯田ガバナーをはじめ、ホスト校の県立静岡高校の浅羽校長、第2620地区の新世代委員、インターアクト委員が出席した。開会式に引き続き、ベトナム「子供の家」を支える静岡の会代表で元県立高校教諭の牧田至禮氏による基調講演が行なわれた。講演終了後、同会場にてかっぱの練習が行なわれ、夕食後、清水みなと祭りの『清水港かっぱ総おどり』にインターアクトクラブの連として参加した。かっぱ終了後は各校がそれぞれの宿泊場所に移動し流れ解散となった。翌2日は9時15分より清水マリナーパーク(屋外)にて閉会式後、遊覧船にてクルージングの予定であったが、雨天の為、閉会式はクルージング船内にて開催された。

年次大会の参加者は生徒97名、顧問21名、ロータリアン25名の計143名であった。尚、沼津中央高校インターアクトクラブからは2年生の女子生徒3名と顧問の平野先生が参加した。(学校行事の為、開会式には出席できず、港かっぱの練習より合流となった。)

尚、併せて行なわれた顧問・インターアクト委員の会議の中で、本年予定されていたインターアクト海外研修が中止された為、それに替わるものとして春休みに第2780地区と合同での研修会を1泊で実施する案、北海道のインターアクト年次大会への参加を兼ねた研修旅行の2案で検討している事。次年度の年次大会は富士学苑高校がホストとなり7月27・28日での開催を計画しているが、各校の行事計画を勘案して日程調整し、12月の指導者講習会までに日程を決定する旨が報告された。



今月の「ロータリーの友」

クラブ広報委員会

RI会長メッセージ(1頁)

新会員を迎え入れる

- ・ロータリーで最初に経験するのはクラブ。
- ・核となる価値観を共有する。
- ・いい仕事、慎重に選んだ会員。

8月は会員増強及び拡大月間(12頁)

会員増強で更なる飛躍を

東京昭島中央RCが11人の新会員を獲得

ロータリーの基礎知識(33頁)

- ・ロータリーの組織構成。
- ・クラブ会員の恩典と責務。
- ・ロータリーの基本理念。
- ・RIプログラム。
- ・ロータリー財団。
- ・ロータリー財団未来の夢計画。
- ・ロータリーの2億ドルのチャレンジ。
- ・重要な会合。
- ・未来。

などが掲載されています。なお41頁にはロータリーの基礎知識日本編が掲載されています。

12月号と3月号の表紙写真を追加募集します(31頁)

8月号表紙から、ロータリアン撮影写真による「祭り」シリーズ始まりましたが12月号と3月号については、該当募集作品がありませんでした。

両号の表紙に掲載する写真を再募集します。

11月後半から12月末の祭り、ならびに2月後半から4月前半の祭りの写真をお送りください。

詳しい募集要項は本誌縦組29頁をご覧ください。

